



本を読もう

梅雨に入り、外遊びができない日があります。雨の時は、汐入小の子どもたちは何をやっているのだろうと思いながら、空を眺めていました。

先日、子どもたちには残念ですが雨の1日がありました。子どもたちの様子を見に行くと、図書室に大勢の子どもたちがいました。それもかなり盛況でした。



汐入小学校には、図書ボランティアの方々やほの会の皆さまなど、子どもたちの読書への取り組みの後押しをしてくださる方々が大勢いらっしゃいます。おかげさまで、汐入小の子どもたちは、よく本を読んでいるようです。これが、学校全体の落ち着いた雰囲気にもつながっていると思います。ご家庭でも、子どもたちの読書活動への後押しをしていただくと幸いです。よろしくお願いいたします。



引き取り訓練について

先日、長野県にて、震度5強の強い地震がありました。幸いなことに、命を落とすまでという方はいなかったようでした。

もし、汐入の町において、同じくらいの震度の地震があった場合は、子どもたちの安全を考えて、引き取り下校となります。

夏休み明け、8月25日の金曜日に引き取り訓練を行います。お子様と災害について考える良い機会です。是非、ご参加ください。詳しくは、配布いたしました『引き取り下校訓練について』のお知らせをご覧ください。保護者の皆さまのご参加をよろしくお願いいたします。

145周年の汐入小学校・明治の夏休み

あと2週間もすると子どもたちが待ちに待った夏休みがやってきます。145年前の汐入小学校に夏休みがあったかどうかについては資料が残っていないのでよく分かりません。しかし、教育史などの資料を紐解くとその頃から夏休みが始まったといわれています。

145年前の明治時代、欧米の学問を取り入れるために、学校に多くの外国人教師が入ってきました。そのために、欧米の習慣にあった夏休みも取り入れられたといわれています。

欧米の夏休みでは、新学期が休み明けの9月始まりなので、ほとんど宿題がないようです。しかし、日本の学校は4月始まりなので、3ヶ月間学んだことを忘れないように宿題が出されるようになったといわれています。

汐入小の子どもたちも、夏休み明けに学んだことを忘れてしまうことがないように、宿題や家庭学習をしっかりとやっておいてもらいたいです。